

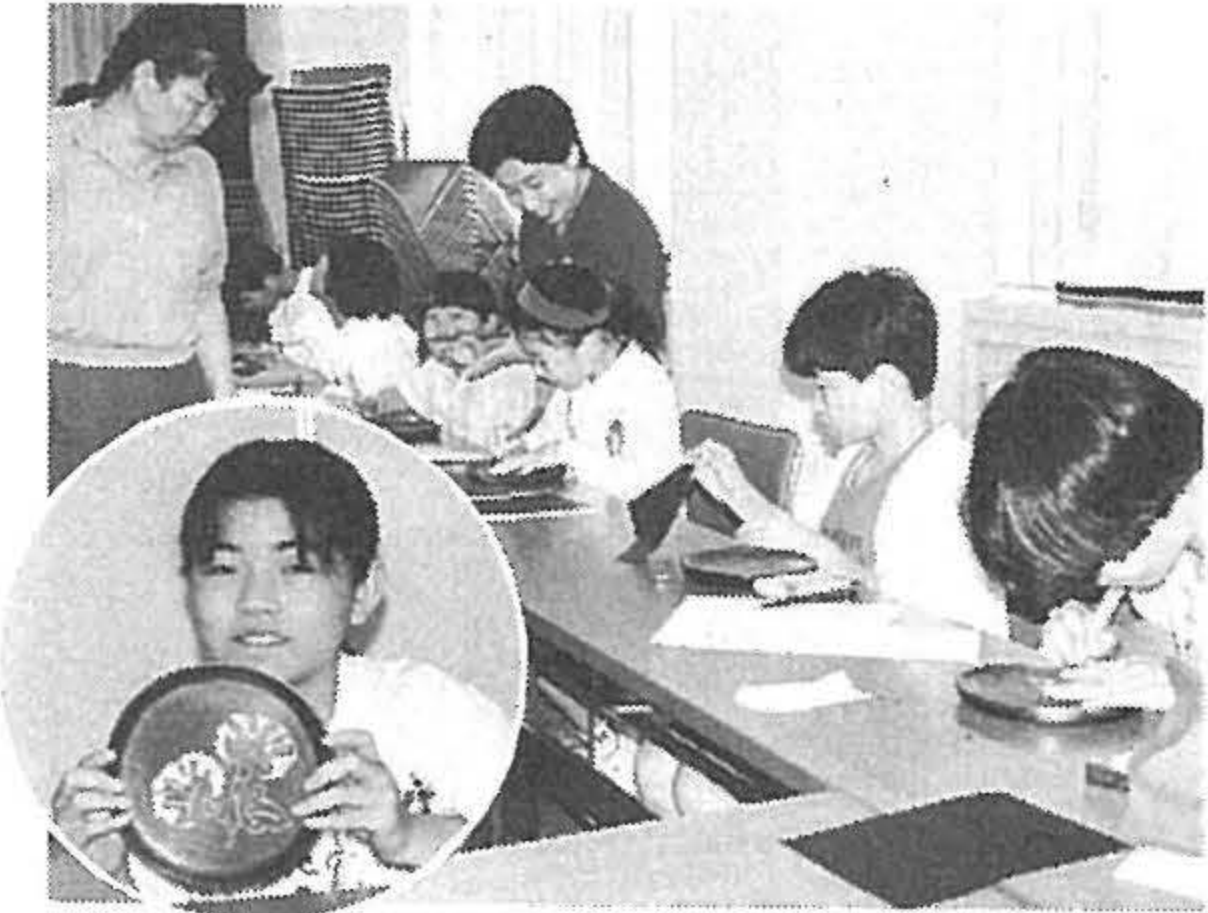
まちかど

ニュース 840



まちかどニュース840では、催しなどの情報をお待ちしています。秘書広報課 広報係
☎内線226、FAX95-7367

うまく彫れたよ 小さなお盆！ 夏休み子ども工作教室



子ども達に手作りの楽しさ、物の大切さを知ってもらおうと、夏休みの期間中A・Bコースに分かれ、八幡公民館で、子ども工作教室が開かれました。

8月6日に開かれた教室は、木彫り工芸。参加した21人の子ども達は、桂会木彫サークルの皆さんの手ほどきを受け、思い思いの図案を選びました。

初めて彫刻刀を持った子、慣れた手つきで掘り続ける子と千差万別ですが、木の温もりは彫る手から感じたようです。夏休みの宿題の作品にしようかな、と、いう声も聞こえ、出来栄はばらばらで、ご覧のとおり。

第4回市政見学会 ―八潮の河川と親水コース―



8月24日、残暑に見舞われた天下の中、29人の参加者による第4回市政見学会が行われました。

今回のコースは、綾瀬川の貯木場、舟から見た中川、水と植物が一体となったせせらぎ遊歩道、工業用水を供給している柿木浄水場など「水」に着眼して行われました。

舟を使っただけの見学会は初めてのことで、参加者は心高めながら舟上では、環境問題やボランティア活動など情報を交わしていました。

昔から水とかわって来た私達。生活に産業にと川に支えられていることを考えさせられた一日でした。

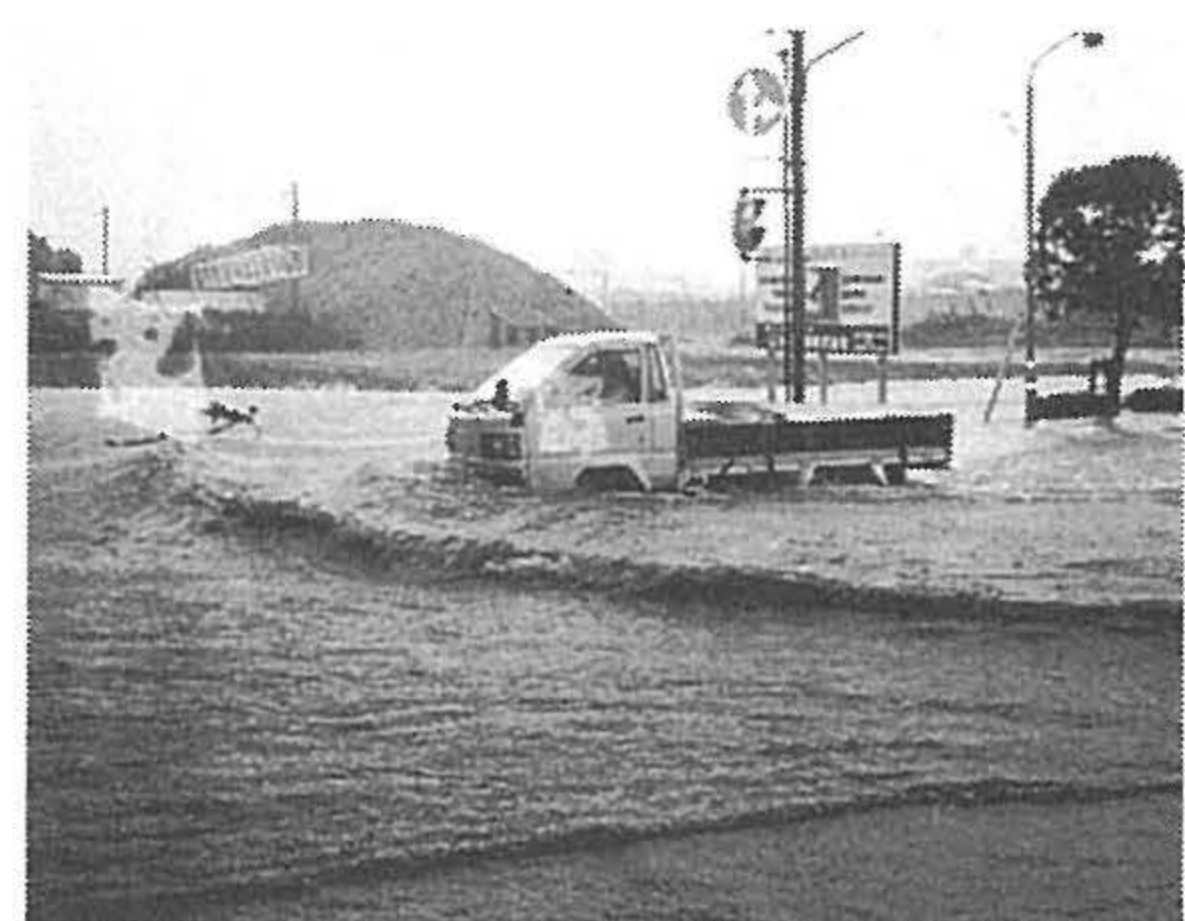
南部配水場を建設 ―工事の安全を願って―



八潮市南部配水場築造工事。本市の上水道事業は、昭和の安全祈願祭が8月26日、藤波市長はじめ、関係者22人が参列して建築場所の古新田3番地内で行われ、施設の充実に図られました。

さらに市の南部を通るルートとする常磐新線の具体化や幹線道路網の整備も進み、人口の増加が見込まれ、安定した給水を確保するため、第四期拡張事業の一環として工事を着工しました。完成は、平成7年3月の予定です。

約二千世帯が床上床下浸水 ―台風11号被害―



8月27日に上陸した台風11号は、市内にも大きな被害をもたらした。市では、台風の接近にともない27日午前9時に報告された被害状況は床上浸水201件、床下浸水83件。情報収集活動に入りました。

その後、対策本部に救援要請が続々と寄せられたため、土のう積みやポンプの設置、交通整理などの救援活動を行いました。

備えあれば憂いなし。市民の皆さんも今後の台風情報には、十分注意するよう心掛けてください。

中学生海外派遣に 同行して

団長 竹下日出男

Memories of Australia



文化・風俗・習慣等全ての面で異なる南半球の地オーストラリアで、市内中学生21人と共に約1週間を過ごすことができました。彼らは中5日間の滞在中、オーストラリアの人々とは勿論、現地の学校パーレンジョイハイスクールの生徒達とも主体的に行動し、培った語学力を存分に生かして交流してくれました。

それはまさに感動の連続で、日本人は、外国の人々と交わろうとすることが不得手であると言われますが、今回の中学生には、この言葉は全く当てはまりませんでした。ゆか

八潮市国際教育推進協議会は、8月3日から9日までの間、市内の中学生21人と引率教員3人をオーストラリアに派遣しました。パーレンジョイハイスクールとの交流やホームステイが行われ、文化や生活習慣の違いに戸惑いながらも、心に残る何かを持ち帰ったようです。

チャリティマラソン ソフトボール大会



雲仙普賢岳・北海道南西沖地震災害救済「チャリティマラソンソフトボール大会」が、8月28日午後6時から翌29日午後2時までの20時間に渡り、八潮中学校で行われました。

前日の台風11号により大会開催も危ぶまれましたが、主催者(セイル、八潮市青少年相談員協議会、八潮ロータリークラブ)の努力でグラウンドも整備され、無事プレイボール。延べ800人が参加し、偶数年生まれと奇数年生まれに分かれて1-8インングを戦いました。

なお、偶数年チームが188対184で勝利をおさめ募金総額は26万7千97円でした。

資料館で地震資料展

―関東大震災から70年―



8月29日から資料館で、第8回(生涯学習)企画展「地震資料展」が開催されています。今年は大正12年9月1日に発生した関東大震災の70周年に際して、市民の皆さんに防災意識を高めてもらうことを企画されたものです。

会場には、地震発生に関する図解パネルや江戸時代の絵巻のほか、関東大震災当時の貴重な写真など多数展示されています。なお、同展は11月23日まで開催しています。